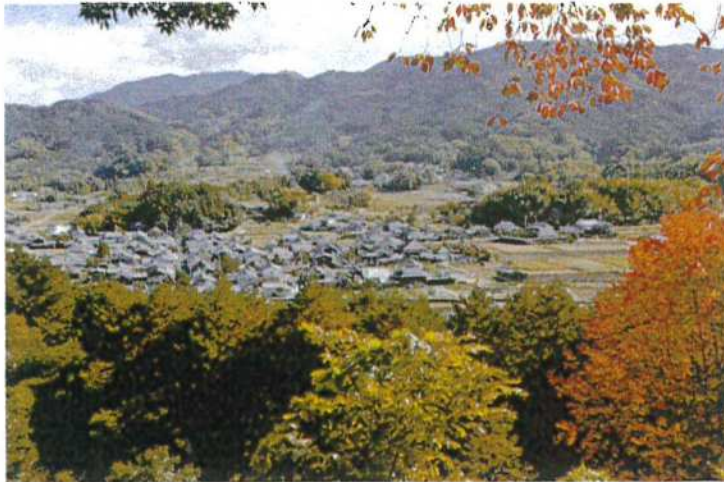


明日香村幼小中一貫教育 第2回実践発表会

研究主題

“15才の自立”を育む幼小中一貫教育
～人・学び・社会をつなぐ～



期 日： 平成30年11月22日（木）
会 場： 明日香幼稚園・明日香小学校・聖徳中学校
日 程：

9:30 11:15 12:00 12:30 13:00 13:50 14:20 14:40 14:50 15:50 16:40

受 付	公 開 保 育	(幼 児 教 育) 分 科 会 A	昼 食 ・ 移 動	受 付 <small>(午 後 か ら の 参 加 の 方 の み)</small>	公 開 授 業	移 動	オ ー プ ニ ン グ	開 会 行 事	全 体 会	分 科 会
明日香幼稚園				明日香小学校 聖徳中学校			聖徳中学校			

ごあいさつ

明日香村教育委員会
教育長 田中 祐二

明日香村幼小中一貫教育第2回実践発表会に、県内外から多くの皆様方にお集まり頂き、心から感謝申し上げます。併せて、本実践発表会の開催にあたって、様々なご支援、ご協力を賜りました関係各位に、篤くお礼を申し上げます。

ここ明日香村は、6世紀末からおよそ百年の間、歴代の宮都が営まれ、我が国の律令国家体制が初めて形成された『日本の国の始まりの地』とされています。

平成27年4月には、日本の黎明期である飛鳥時代に活躍した女性たち（女性天皇、女流歌人、尼僧）の物語『日本国創成のとき～飛鳥を翔た女性たち～』が、日本で初めての「日本遺産」に認定されました。さらに平成29年4月には、日本書紀推古天皇21年(613年)に「難波より京（飛鳥）に至るまでに大道を置く」と記された竹内街道・横大路(大道)を語る『1400年に渡る悠久の歴史を伝える「最古の国道」』が日本遺産に認定されました。

そして今、奈良県、橿原市、桜井市と共に「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」としてユネスコ世界遺産登録を目指しているところです。

明日香村には古代の遺跡や埋蔵文化財等の歴史的文化遺産が至る所に存在し、万葉集に詠われた自然景観をはじめ千数百年前を偲ばせる歴史的風土や伝承文化が、ここに暮らす人々により守り受け継がれてきました。

私たちは、このような郷土明日香の自然や歴史、文化を愛し、郷土に誇りを持って、自らの生き方を切り開くたくましい子どもを育て、夢に向かって力強く生きていく意欲ある人づくりを目指しています。しっかりと郷土を語ることができる「明日香に根差した国際人」となれる子どもを育てたいと願い、郷土学習や英語教育をはじめ様々な分野の教育に力を入れながら、平成24年度から施設分離型幼小中一貫教育を進めています。

幼小中の教員の代表者で組織する委員会や部会をテーマごとに立ち上げ、校種を超えた教員の繋がりを大切にして、定期的に会議を開き、課題解決に向けて、検討、立案、実行、点検、分析のサイクルを繰り返しながら、教職員、教育委員会、保護者、地域住民が皆で知恵を出しあい、力を合わせて、明日香ならではの幼小中一貫教育の実現と充実に向けて取り組みを進めています。

今日は、少しずつ充実してきた学校・園の教育と、少しずつ学力を付けて成長してきた子どもたちの様子をご覧いただくとともに、皆様方から忌憚のないご感想やご提言をいただき、明日香村の施設分離型幼小中一貫教育のさらなる充実を生かしてまいりたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

「明日香村幼小中一貫教育第2回実践発表会」開催にあたって

実行委員長 米田 次男

明日香村で『幼小中一貫教育第2回実践発表会』を開催しましたところ、県内外から多くの皆様にお集まりいただき、心から感謝申し上げます。

明日香村の一貫教育を振り返りますと、始まりは平成15年度となりますが、様々な面で紆余曲折があり、改めて平成23年度に幼小中の繋がりのある教育活動が見直されました。そして、その一歩として、村で学校・地域コミュニティを設立することで地域協力体制が整えられ、また、幼小中の教員で共通の行事（幼小中交流音楽会）を開催することで、「繋がりをもった一つの学校」という意識が芽生えました。

前回の第1ステージ（平成25年～27年）では、学校、地域、家庭が三位一体となり、「明日香村の学校が変わり、地域が変わり、子どもが光り輝く幼小中一貫教育」を目標に、郷土に自信と誇りをもち、自ら夢を切り拓く園児・児童・生徒の育成を目指し、取組を進めました。また、幼小中教員にとって、各部会における忌憚のない意見交換や職種を超えた授業公開は、12年間の系統だった教育活動の実践にむけて、この上なく大切な研修となりました。

今回の第2ステージ（平成28年～平成30年）は、第1ステージを基盤に「自立した明日香の子」を目指し、12年間を4期（プレ期・前期・中期・後期）に分けることで、より一層「幼小中の繋ぎ」に重点を置いています。そして、「小中の隔たり」という課題と向き合い、今年度からは中期打合せ会を設けることで情報を共有し、解決策を探っています。

特に、推進プロジェクトの4部会（言語力部会・学習規律、郷土学習、英語教育、専門教育）での講師招聘による合同研修会や学習会は、さらに幼小中の繋がりを深め、一体感が感じられるようになりました。そして、その一環として、昨年度は文部科学省の「外国語教育強化地域拠点校事業」で研究大会を開催し、一貫教育における英語活動・英語教育の実践を発表することで、一定の成果を得ることができました。

また、「基礎的な言語活動の育成」や「学習規律の徹底」を定期的に検証し、それをベースに言語活動（聞く力・話す力・読む力・書く力）の充実を図り、各校園で実践することで少しずつ学力の向上が見られるようになってきました。

今後は、幼稚園入園時から中学校卒業時の12年間をスパンに、明日香の子ども達を「どのような子どもに育てていくのか」を共通の課題として、15歳になった姿を思い描き、「一貫教育は明日香の教員なり」という信念の下、幼小中一貫教育を推進していきます。

本日は、研究の一端ではありますが、幼小中の子ども達や教職員の取り組む姿を見ていただき、ご指導、ご意見をいただければと思います。

最後になりましたが、本研究実践発表会にあたり、新田先生（幼児教育）、吉永先生（言語力）、植松先生（郷土学習）、前田先生（英語教育）、富倉先生（専門教育）の講師の先生方には多方面にわたってのご指導、ご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

==== 開催要項 ====

1. 研究主題

“15才の自立”を育む一貫教育 ～人・学び・社会をつなぐ～

明日香村では、「自立した明日香っ子」を目標に、平成24年度より施設分離型幼小中一貫教育を本格的にスタートさせました。平成25年度からは第1ステージ3カ年として学校・地域・家庭が一体となった体制づくりに取り組み、平成27年11月に第1回実践発表会を開催しその成果を報告しました。

平成28年度から第2ステージをスタートさせ、「15才の自立”を育む幼小中一貫教育”をテーマに3カ年取組を積み上げてきました。中学校2年・3年を幼小中一貫教育の「自己確立期」と位置づけ、15才での自立にしっかりと責任を持つ一貫教育はどうあるべきか、これまでの取組について報告したいと思います。

2. 主催 明日香村教育委員会 ・ 明日香村立明日香幼稚園
明日香村立明日香小学校 ・ 明日香村立聖徳中学校

3. 後援 奈良県教育委員会

4. 開催日時・場所

日 時：平成30年11月22日（木） 受付：（午前）9：30～ （午後）12：30～

場 所：（午前）明日香村立明日香幼稚園

（午後）明日香村立明日香小学校・明日香村立聖徳中学校

5. 日 程

午前の部	プレ期（場所：明日香幼稚園）	
9：30～	受 付	
9：30～11：00	公開保育	○ 基礎的な言語力・生活習慣 ○ 郷土学習 ○ 英語あそび
11：15～12：00	分科会A	① 幼児教育

移 動

午後の部	前期・中期（場所：明日香小学校）・後期（場所：聖徳中学校）	
12：30～	受付（午前から参加いただいた方は、必要ありません。）	
(明日香小) 13：00～13：45 (聖徳中) 13：00～13：50	公開授業	○ 基礎的な言語力・学習規律 ○ 郷土学習 ○ 英語教育 ○ 専門教育
移 動（場所：聖徳中学校）		
14：20～14：40	オープニング	（演奏）八雲琴・和太鼓
14：40～14：50	開会行事	
14：50～15：40	全体会	明日香村幼小中一貫教育 「15才の自立”を育む一貫教育」 指導・講評：吉永 幸司 先生
15：50～16：40	分科会B	② 基礎的な言語力 ③ 郷土学習 ④ 英語教育 ⑤ 専門教育

6. 公開保育・公開授業

午前の部		ブ レ 期 (場所: 明日香幼稚園)		
9:30 5 11:00	公開保育	○基礎的な言語力・生活習慣 ○郷土学習 ○英語あそび	年少3歳児:たんぽぽ組 年中4歳児:ちゅうりっぷ組 年長5歳児:すみれ1組 年長5歳児:すみれ2組	・異年齢児交流あそび ・クラス別活動
午後の部		前 期 ・ 中 期 (場所: 明日香小学校)		
13:00	公開授業	○基礎的な言語力・学習規律	1年1組	国語科:ともだちにきいてみよう
13:45			1年2組	算数科:同じコップで、水のかさをくらべよう
			6年1組	社会科:アジア・太平洋に広がる戦争
13:00		○郷土学習	3年	あすか科:明日香に伝わる祭りや行事について調べよう
			5年1組	あすか科:明日香の食の魅力を伝えよう
13:45		○英語教育	小2・中1 合 同	外国語活動・英語科:買い物しよう Let's go shopping!
			4年1組	英語科:This is my favorite place. お気に入りの場所をしようかいしよう
			6年2組	英語科:明日香村をしようかいしよう ~Do you know Asuka Village?~
			4年2組	音楽科:曲の気分を感じ取ろう
			5年2組	理科:物のとけ方
13:00	公開授業	○専門教育(中学校教員による授業)	3年	明日香学:2年間の調査研究のまとめ (明日香村への提言に向けて)
			2年1組	家庭科:災害に必要な備えを考えよう
13:50		○英語教育	2年2組	英語科:New Horizon 2 Unit 6 Rakugo in English ~Let's introduce Asuka in English! ~
午後の部		後 期 (場所: 聖徳中学校)		

7. 分科会A (11:15~12:00) : 分科会B (15:50~16:40)

	分科会名	テーマ	指導・助言
分科会A	① 幼児教育	幼稚園の取組について	奈良県立教育研究所 指導主事 新田 晶子
分科会B	② 基礎的な言語力・学習規律	人間力を高める“基礎的な言語力”の育成	元京都女子大学 教授 吉永 幸司
	③ 郷土学習	郷土を知り、郷土を愛し、郷土に誇りをもち、郷土を語れる子どもの育成	帝塚山大学 講師 植松 利晴
	④ 英語教育	明日香に根差した“国際人”の育成	奈良教育大学 准教授 前田 康二
	⑤ 専門教育	教科の専門性を発揮する段階的な教科担任制	奈良県教育委員会学校教育課 指導主事 富倉 勇

あ と が き

明日香村の幼小中一貫教育は、平成15年より教育特区の指定を受けスタートしました。様々な検討を進める中で、平成25年度より第1ステージとして本格的な取組を開始し、平成27年度11月に第1回実践発表会を開催しています。当時、本村の幼小中一貫教育は12年間をつなぐための取組に積極的に挑戦する中で、大きな変革が行われた時期でした。子どもたちの変容から大きな手応えを感じ、教職員の意識も大きく変化した時期だったように思います。

第2ステージは、さらなる高みへの前進を願い、“15才の自立”をテーマに、これまでの取組を継続しつつ新たに挑戦した3年間でした。その中心が、施設分離型一貫教育における教育区分への変革（「プレ期」、「前期」、「中期」、「後期」）と、中期（小5～中1）のつながりの充実です。つまり、「中学3年生における“15才の自立”に、担任だけではなくすべての教員が責任を持つ。」という考えを中核に、そのための教育課程と教育内容・方法に“12年間を通したつながり”をもたせるものです。今回開催をします第2回実践発表会では、幼小中一貫教育実践の具体的な手立てと生き生きと学習に生活にと頑張る子どもたちの姿について、報告させていただきました。

これらの取組には、村内の教職員が中心となる推進委員会を始め各プロジェクト部会、教職員合同研修会等において、検討、実践、見直しを進めました。また、第2ステージからは、学校行事・教育課程検討委員会と生徒指導部会、小中教科部会を本格的に機能させるとともに、さらに中期打合せ会と幼小連携部会を立ち上げ、明日香村幼小中一貫教育の内容充実に取り組みました。これらの取組には、幼小中全ての教員が放課後の時間を当て会合を重ね、共通理解を図りました。そして、課題解決に向け心一つにした実践を積み重ねてきました。

このように、子どもたちの12年間におよぶ成長にしっかりと責任を持つ幼小中一貫教育の実践には、スーパーバイザーの吉永幸司先生（前京都女子大学教授）、前田康二先生（奈良教育大学准教授）、植松利晴先生（帝塚山大学講師）、藤井 仁先生・富倉 勇先生（県教育委員会指導主事）、新田晶子先生（県立教育研究所指導主事）をはじめ多くの先生方のご指導のお陰であると感謝しております。

しかしながら、この3年間の取組を振り返ってみますと、いくつもの課題も明らかになっています。本日、全国や奈良県、そして各地域からお集まりいただきました方々から頂いたご指導、ご意見を参考に、来年度からの幼小中一貫教育をさらに充実させていきたいと思っております。今後ともご指導ご支援いただきますようお願いし、本日のご参加に深く感謝申し上げます。

今回の実践発表会の資料についてのお問い合わせは
明日香村教育委員会 教育文化課まで

TEL 0744-54-3636
E-mail a_kyoiku@tobutori-asuka.jp